

# オーケストラを応援する市民ファンクラブが札幌に集結 北海道の被災地に音楽支援の募金活動を



自分たちのまちのオーケストラを支援する市民ファンクラブで作る「日本プロオーケストラファンクラブ協議会」の総会が22日、札幌市で開かれ、北海道の被災地に音楽を届けるために募金活動を行うことなどが決まった。

同協議会は平成17年、札幌と山形、仙台の各オーケストラのファンクラブが交流したのをきっかけに、全国でネットワークを築こうと翌18年、5団体で結成。現在は、オーケストラを誕生させようと準備している熊本も含め10地域10団体にまで広がった。

毎年、地域を変えて総会を開き、札幌での開催は3回目。総会では、テーマ別に分科会に分かれて話し合い、ファンクラブが高齢化してきている悩みや、楽団支援として移動に使うバスを購入するため、クラウドファンディングで約266万円を集めた山形の例などが紹介された。

同協議会の上田文雄会長は「オーケストラ、音楽はまち、生活を豊かにする。私のまちの楽団といえるのはぜいたくなことだ。北海道で胆振東部地震が起きるといふ悲しみを味わったが、出発するということを感じ取ってほしい」とあいさつした。

総会では、北海道の被災地にオーケストラの演奏を届けたり、損壊した楽器の修理に役立ててもらえるよう、各地のファンクラブで募金活動を行うことも決まった。

（産経新聞－THE SANKAI NEWS－2018. 9. 22. 19：44より）